

事業名	運営管理費			調査番号	3
細事業名	地域政策会議開催費	財務コード	118703		
担当部課室	県民生活 部 県民生活・男女参画 課 総務経理・企画 担当 (内線)	1257			

I 事業の概要

実施期間	始期 H13 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(直営)		
目的	だれ(何)を対象に 各地域県民センター管内出先機関の 県幹部職員と同管内選出の県議会議 員	その対象をどのような状態にして 管内の県の取組みについて意見交換を行 うことで地域の要望や行政課題を共有	結果、何に結びつけるのか 地域課題への解決に向け、県事業の迅速 かつ効果的な執行に寄与する
内容	県内4つの地域県民センターを一単位として、同管内選出の県議会議員とその地域における行政上の課題や情報について意見交換を行うことにより、地域課題への迅速かつ効果的な対応を図ることができる ※開催回数:中北2回(甲府市、甲府市以外)、峡東1回、峡南1回(南巨摩、西八代合同)、富士・東部1回		

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31(R1)年度	R2年度
活動指標	会議の開催回数	目標	5	5	5	5	5	5
		実績(見込)	5	5	5	5	5	5
		達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		達成区分	b	b	b	b	b	b
成果指標	県議会議員からの意見・要望・質 問への対応数	目標	36	18	41	40	44	37
		実績(見込)	36	18	41	35	39	37
		達成率	100.0	100.0	100.0	87.5	88.6	100.0
		達成区分	b	b	b	b	b	b
決算(予算) 単位:千円		13	16	16	16	15	47	0

III 事業の評価(平成30年度の業績評価)

活動指標	b	評価	県側は管内の事業を県議に説明できる機会として、県議側は地域住民の声を行政に届ける機会として定期的に実施できている。
成果指標	b		県からの事業説明に対する質問や意見、地域課題への要望など、多岐にわたる項目について活発な意見交換ができています。

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(令和2年度に向けた改善等の考え方)

関係与の 必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()
有効性 (成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	県と県議が地域の課題や行政上のニーズを把握かつ共通理解できる機会であり、会議における県への意見や要望は予算編成に反映している。
見直しの 余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()
その他	説明	県としては管内出先機関の幹部職員と県議が一堂に会して管内の事業を説明できる機会であり、県議も地域住民の声を直接行政に届ける機会であることから、年中の一行事として定着し有意義な会議となっている。
見直しの 必要性	無	県、県議双方とも重要な行事となっていることから、今後も必要なものとして継続すべきと考える。

V 見直しの方向(令和2年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明	これまで事業費として予算計上していたが、既定経費から捻出することとした。
-------	----	--------------------------------------

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しが無い場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。